

白鷹町地域情報化計画

平成25年2月

白 鷹 町

目 次

【第1章 計画策定の考え方】

1. 目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画の期間	2

【第2章 白鷹町における地域情報化の現状と課題】

1. 白鷹町の概要	3
(1) 面積・地理的状况	3
(2) 人口の動向	3
(3) 福祉・医療	3
(4) 産業・観光	3
(5) 教育	4
2. 白鷹町地域情報化推進構想等の検証	4
3. 地域における情報化の現状と課題	5
(1) 情報化の基盤整備	5
(2) 情報発信・相互交流	7
(3) 福祉・医療	9
(4) 産業（農業・工業・商業）・観光	9
(5) 教育	10
(6) 安心・安全・防災	10
(7) インターネットを利用した住民向けサービスの実施	11
4. 行政における情報化の現状と課題	12
(1) 公共施設間のネットワーク整備	12
(2) 基幹系システム	13
(3) 内部情報系システム	13
(4) 総合行政ネットワーク（LGWAN）	13
(5) 白鷹町総合情報センター	13

【第3章 白鷹町における地域情報化の目標と今後の展開】

1. 国、県における情報化施策	15
(1) 国における施策	15
(2) 山形県における施策	15
2. 白鷹町における地域情報化施策	16

3. 地域における情報化の推進	17
(1) 総合情報センターを中心とする地域情報化の推進	17
(2) 難視聴区域の解消	19
(3) 住民と行政の情報交流と共有	19
(4) 福祉・医療、防災・災害、産業・観光などの情報化	21
(5) 小中学校の情報教育（教育関係のICT活用）の充実	24
(6) 住民向けサービスの実施	24
4. 行政における情報化の推進	26
(1) 共同アウトソーシングの導入	26
(2) 総合情報センターにおける行政システムの管理運用	27
(3) 公共施設間の光ファイバー専用線について	27
(4) 総合行政ネットワーク（LGWAN）の活用	27

【資料】

アンケート	28
-------	----

第1章 計画策定の考え方

1. 目的

白鷹町では、平成7年3月に白鷹町地域情報化推進構想を掲げ、情報化社会に合ったまちづくり、地域づくりに取り組んできました。その中で、地域情報化推進の拠点となる白鷹町総合情報センターの整備や町内全域の光ファイバー通信網の整備を行ってきました。また、平成7年8月には白鷹町電算処理基本計画を策定し、役場内の業務の電算システム化を行い、効率的な行政運営に取り組んできました。

しかし、情報通信に関する技術は想像以上のスピードで進化し、以前では想像もつかなかったような機器が私たちの日常生活の中に浸透しています。インターネットの普及、携帯電話やスマートフォンの普及、地上デジタルテレビ放送への移行などにより、情報の受け取りかた、発信のしかたも変わってきています。今後、町においても様々な情報通信機器を効果的に活用しながら、町民生活の向上や行政事務の効率化に取り組んでいく必要があります。

また、一方で少子高齢化が急速に進み、高齢化率が30%を超している当町においては、最新の情報通信機器の利活用のみならず、あらゆる情報媒体（広報紙「広報しらたか」など）を利用しながら、すべての人に情報が行き渡る仕組みづくりをしていくことも必要となります。

これらの状況を踏まえ、福祉、防災等の安心安全、教育、産業などの各分野における課題を明らかにし、これからの白鷹町における地域情報化(※)を推進していくため「白鷹町地域情報化計画」を策定するものです。

(※)地域情報化・・・最新の情報通信技術を活用し、住民生活の利便性の向上や行政サービスの向上を図ろうとするもの。ただし、当計画においては、広報の発行など従来の手法によるものも重要な情報メディアの一つと捉え、計画に盛り込みます。

2. 計画の位置づけ

この計画は、「第5次白鷹町総合計画」に示された内容をもとに、地域情報化を推進するための考え方や今後の展開について示すための基本計画となります。具体的な施策の実施については、振興実施計画により進めていきます。

第5次白鷹町総合計画 → 白鷹町地域情報化計画 → 振興実施計画

3. 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度から平成29年度までの5年間とします。

なお、社会情勢の変化や情報化の推進状況等により見直しを行うものとします。

第2章 白鷹町における地域情報化の現状と課題

1. 白鷹町の概要

(1) 面積・地理的状況

町の面積は157.74km²で、東西に17km、南北に16kmで約65%は森林で占められています。米沢市を中心とした置賜広域圏に属していますが、平成4年に国道348号が開通したことにより、山形市との結びつきが強くなっています。

(2) 人口の動向

国勢調査にみる総人口は、平成17年調査時は16,331人でしたが、平成22年調査時は15,314人となっており、人口減少が進んでいます。

また、少子高齢化の影響により、平成22年国勢調査にみる高齢化率は31.2%と高くなっています。

(3) 福祉・医療

福祉施設として、町内に、特別養護老人ホーム、老人保健施設、短期入所や通所サービス等の事業所や障がい者施設があります。高齢化に伴い高齢者施設・居宅サービスの利用者数が増加しています。

医療については、町医療の中心として町立病院があり、公立置賜総合病院、町内の個人医療機関等と連携しながら医療の充実に取り組んでいます。

(4) 産業・観光

農業については、少量多品目生産が特徴ですが、酪農や紅花栽培は県内において高い生産量を誇っています。

工業については、生産用機械や電気機械等の多様な業種があります。企業誘致を図るために整備した工業団地には、10数社が立地しました。

商業については、近郊都市への消費の流出などにより、集落からの商店の減少が見られ、依然として厳しい状況となっています。

観光については、立ち寄り型の観光が主流となっています。季節ごとにイベントが開催され、観光客が訪れます。

(5) 教育

現在、小学校5校、中学校2校がありますが、少子化に伴う生徒数の減少により、平成27年度に中学校を1校に統合することが決定しています。

また、社会教育関連施設として、中央公民館と各地区公民館、文化交流センター、町営スキー場、スポーツ公園等があります。

2. 白鷹町地域情報化推進構想等の検証

白鷹町では、平成7年に白鷹町地域情報化推進構想及び白鷹町電算処理基本計画を策定し、地域そして行政内部の情報化に取り組んできました。その主な目標と成果については次の通りです。

1. 情報通信網の整備

平成21年度、NTT東日本によって町内全域に光ファイバー通信網が整備され、サービス提供が始まりました。

2. 行政情報システムの構築

現在、住民記録・戸籍・税・福祉・上下水道利用料・財務会計・人事給与等の業務に電算システムが導入され、事務の効率化が図られています。

3. 総合情報センターを中心とした地域情報化の推進

平成12年度に白鷹町総合情報センターを開設しました。当時、まだインターネットが普及していない中、プロバイダ事業等を実施し、町の地域情報化の推進の中心的役割を果たしてきました。

次に、現在までの町の地域情報化の取り組みとして、地域や住民に関わるものを「地域における情報化」、町の事務事業や行政内部事務に関わるものを「行政における情報化」と区分し、その現状と課題について述べます。

なお、計画の策定にあたり、広く意見を取り入れるために平成24年5月に一般住民約1,000世帯を対象としたアンケートを、また平成24年7月に町内の184事業所を対象としたアンケートを実施しました。

3. 地域における情報化の現状と課題

(1) 情報化の基盤整備

①高速通信網（光ファイバー）の整備

国においては、平成13年の「e-Japan戦略」を皮切りに、光ファイバー通信網などの超高速ネットワークインフラ整備の促進を図ってきました。情報を高速でやり取りできる光ファイバー通信網の整備は、情報通信技術の利活用により得ることのできる様々な恩恵を享受するため、ひいては私たちの生活の利便性を高めるために必要不可欠なものでした。また、企業が進出するうえでの重要な条件の一つであり、産業の振興という面からも早期整備は重要な課題でした。

白鷹町においては、町民の方々や企業の方々が個別に通信会社に対して光ファイバー通信網の整備を要望してきましたが、実現には至りませんでした。そこで、平成21年1月に白鷹町商工会、白鷹町区長会連合会、JA山形おきたま白鷹支店、財団法人白鷹町アルカディア財団及び白鷹町による「白鷹町光ブロードバンド実現の会」を設立し、町内において最も普及している通信基盤の事業所であるNTT東日本に整備要請を行いました。その結果、平成21年度に町内全域で光ファイバー通信網が整備され、11月からサービス提供が始まり、だれでも利用することができるようになりました。

今後、地域産業、医療、福祉、防災、教育など各分野において、更に有効に利活用していくことが求められます。

アンケート結果

インターネットの利用回線

	光ファイバー	ADSL	ISDN	モバイル	その他	無回答
住民アンケート	231	40	1	31	0	16
企業アンケート	65	18	4	5	0	2

光ファイバー通信網の使用率は高いという結果となりました。アンケート上の結果ではありますが、約70%の利用率となっています。場所によっては、ADSL回線でも支障がないということもあるようで、引き続きADSL回線を使用している場合もあるようです。

②地上デジタルテレビ放送への移行と難視聴の状況

平成23年7月の地上デジタルテレビ放送への完全移行に向け、デジタル放送の電波が届かない区域の難視聴対策を実施し、平成22年度末時点で、ほぼ全域で地上デジタル放送が視聴できる状態となりました。ただし、山間部において、一部、視聴が困難なところがあります。

また、携帯電話については、白鷹町の居住地圏内のほぼ全域で利用可能となっていますが、携帯電話会社によっては、一部、圏外になる場所があります。ラジオについても、受信状況が悪いところがあります。

アンケート結果（住民アンケート）

地上デジタル放送の受信状況

	NHK	YBC	YTS	TUY	SAY
良く映る	478	479	478	477	470
チラつく	14	11	10	9	14
映らない	2	1	1	1	1
無回答	19	22	24	26	28

映らないという回答については、天候により映らなくなる場合があるとのことのようにです。

③白鷹町総合情報センターの整備

白鷹町総合情報センターは、町の地域情報化推進の拠点施設として、平成12年度に開設し、管理運営については、指定管理者として財団法人白鷹町アルカディア財団に委託してきました。町は、指定管理者への委託事業の一つとして、総合情報センターにおけるプロバイダ事業を実施し、開設当時、当町ではまだインターネットがそれほど普及していない中において、総合情報センター会員へのインターネット接続サービスやメール配信サービスを行ってきました。同財団による独自事業としては、パソコン教室の開催や事業所や個人のホームページ作成、ソフト開発等を行ってきました。このように、総合情報センターは、地域情報化推進の拠点施設として、その機能を十分に発揮してきました。

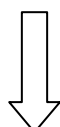
しかし、日進月歩と言われる情報通信技術の飛躍的な発展に伴い、当町の状況も総合情報センター開設当時とは大きく変化しました。インターネットの普及により当町でのインターネット利用者数が増加している中、その多くは大手のプロバイダ事業者を利用しています。光ファイバー通信網の整備により、よりインターネットを利用しやすい環境になりましたが、総合情報セ

ンターの会員数（プロバイダ利用者数）は伸び悩んでいる状況です。

このような現状において、今後も町がプロバイダ事業を実施していく必要性は低いものと考えられます。

白鷹町総合情報センターの会員数の推移

平成20年度 個人会員数251 法人会員数46



← 平成21年度・光ファイバー通信網整備

平成23年度 個人会員数267 法人会員数45

アンケート結果（住民アンケート）

利用しているプロバイダ

プロバイダ	利用者数
プララ	100
OCN	62
ODN	2
SGIC（白鷹町総合情報センター）	35
e-jan（日本・アルカディア・ネットワーク株式会社）	8
その他	41
わからない	39
無回答	25

（2）情報発信・相互交流

①ホームページの運営

町のホームページを開設し、広く情報発信を行っています。平成22年度にはCMS(※)を導入し、より容易な操作で更新作業を行うことが可能となりました。

ホームページでは、町からのお知らせ等の掲載、町議会の中継及び録画の配信などを行っています。各種申請書のダウンロード、図書館蔵書検索、例規集検索もできるようになっており、情報提供と利便性の向上を図っています。

掲載情報の充実を図り、より多くの方々に見てもらえるようなホームペー

ジ作りが課題です。

(※)CMS・・・コンテンツ・マネジメント・システム。専門的な知識がなくとも、容易にホームページの更新が可能になるシステム。

アンケート結果（住民アンケートのみ実施）

白鷹町のホームページを見たことがありますか？

選択肢	回答数
見たことがある	229
見たことがない	200

②広報紙の発行

毎月2回広報紙「広報しらたか」を発行し、様々な情報、身近な話題をお伝えしています。災害が起きた場合などは必要に応じて号外を発行し、より細やかな情報提供に努めています。広報紙はホームページにも掲載しており、広く町外へも情報発信しています。

また、広く町民の方々のご意見をお聞きするために、年3回「広報直通便」(※)を発行しています。

より見やすく、充実した内容を提供できるような工夫が必要です。

(※)広報直通便・・・「広報しらたか」と一緒に、ご意見等を記載していただくハガキを年3回配布しています。寄せられたご意見、ご要望については、担当課より直接ご本人に回答しています。また、場合によっては広報紙に掲載します。料金受取人払いですので、郵送料は町が負担します。

アンケート結果

広報しらたかについて（住民アンケートのみ）

選択肢	回答数
非常にわかりやすい	45
わかりやすい	236
どちらかというとわかりやすい	166
どちらかというとわかりにくい	36
わかりにくい	4
非常にわかりにくい	1
無回答	25

③まちづくり座談会の開催

地域の課題や町政全般について直接町民の方々と意見交換をするため、毎年、各地区単位等でまちづくり座談会を行っています。話し合われた内容については、広報紙や町ホームページに掲載しています。

より多くの方々に参加してもらうこと、また、幅広い年齢層の方々に参加してもらうことが課題です。

(3) 福祉・医療

地域生活あんしんネットワーク事業として、一人暮らしの高齢者などが急病や災害などの緊急時に、簡単な操作で受信センター(※)に連絡することのできる緊急通報機器の設置を行っています。現在、約36世帯で利用されています。今後、少子高齢化が進み、益々高齢者のみの世帯や単身世帯が増えていくことが予想される中で、どのような見守り体制を築いていくかが課題です。

医療に関しては、現在、町立病院において、置賜地域内の医療機関で共有する置賜地域医療情報ネットワークシステム（OKI-net）を利用し、他の医療機関との連携を密にしています。同システムの利用により、他の医療機関における診療情報がネットワークを通じて把握することができるようになるため、転院した場合でも、的確な診療を行うことができます。

(※) 受信センター・・・機器の設置業者の運営する受信センター（岩手県盛岡市）。通報者の相談を受けたり、場合によっては119番通報や、あらかじめ登録された連絡員（家族等）への連絡を行う。

(4) 産業（農業・工業・商業）・観光

情報通信機器の普及に伴い、多くの事業所、生産者がパソコンやインターネットを利用しています。ホームページについては、白鷹町商工会や生産者、事業主がそれぞれ開設し情報発信を行っています。ネット販売や、インターネットを通じて顧客とのコミュニケーションを図り、広く全国に販路を拡大している事業所もあります。また、フェイスブックなどのSNS(※)による情報発信、情報交換も普及しており、特に若い世代の利用者が増えています。町においては、ホームページに製造業ガイドブックの電子版を掲載するなど情報発信を行っています。

主に情報産業関連事業所が利用できる施設であるソフト小村については、現在6棟すべて貸し出され、それぞれの事業所が有効に利用しています。

観光分野については、白鷹町観光協会を中心に情報発信を行っています。ホームページ、ブログのほかフェイスブックも利用し、広く情報発信を行っ

ています。町においても、ホームページや広報紙に随時情報を掲載し情報発信を行っています。

産業、観光分野における情報については、特に新しく、注目される情報が求められます。いかに効果的な情報発信を行っていくかが課題です。

(※) SNS・・・ソーシャル・ネットワーキング・サービス。フェイスブックやツイッターなどの、インターネット上で社会的ネットワークを構築できるサービス。

(5) 教育

平成21年度に、高度なインターネット環境での授業を行い情報教育の推進を図るため、「ICT(※)環境整備事業」により町内小中学校の教育用・校務用パソコン、校内LANや電子黒板などの整備を行いました。

現在の情報化社会においては、児童生徒においても、情報に関する正しい知識や情報を使いこなす能力及びコンピュータ等の情報通信機器を活用する能力を習得する必要があります。

(※) ICT・・・インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー。情報・通信に関する技術一般の総称であり、従来のITとほぼ同様の意味で用いられる。

(6) 安心・安全・防災

①災害時緊急速報メール

平成23年度から、災害時に避難勧告等のお知らせをするため、携帯電話（NTTドコモ・au・ソフトバンクモバイル）への一斉通報が可能な緊急速報メールの配信を行っています。災害などの情報に限り町から配信できる速報メールで、受信できる人は、配信時点で白鷹町近辺にいる人です。（町民に限らず。また事前登録も必要ありません。）通常のメールと異なり、災害時等の通信が混雑した状況でも配信が可能です。

②防災関係のシステムなど

現在、国は、災害・防災情報を把握するために、町内に最上川監視システム（国土交通省）、放射能測定器（文部科学省・結果は文部科学省のホームページ上で公表）、全国瞬時警報システム「Jアラート」（総務省消防庁）を整備しています。

町においては、衛星可搬端末（衛星電話サービス）、防災無線、災害用広報車を配備しています。また、住民の方々に迅速かつ的確な情報の伝達を行うため、各地区公民館と各消防ポンプ車にはトランシーバーを配備し、消防団

幹部へは受令器を配布しています。さらに、役場庁舎には自家発電機を設置し、停電時にも各システムが稼働できるよう対策を講じています。

③除雪車運行管理システム

平成23年度から除雪車運行管理システムを導入しています。GPS機能(※)により、除雪車の現在地が町の担当者や除雪業者のパソコン上でわかります。問い合わせや要望に迅速な連絡対応を図ることができます。

(※)GPS機能・・・グローバル・ポジショニング・システム機能。人工衛星を利用して、地球上のどこにいるのかを正確に割り出すシステム。

④災害時要援護者台帳システム

民生委員を通して災害時に援護が必要な方を把握し、システムで台帳化し、管理しています。地区ごとの名簿の作成や、住居を地図上へ表示することも可能となっています。

東日本大震災以降、防災への意識はさらに高まっています。災害時は、正確な情報をいち早く伝えることが重要になります。あらゆるメディアを利用し、また、消防団や各地区の自主防災組織との連携を図りながら、町内すべてに情報が行き渡るような仕組みづくりが必要となります。

(7) インターネットを利用した住民向けサービスの実施

インターネットを利用した住民向けサービスとして、下記のサービスを行っています。今後、より多くの方々に利用していただくための工夫が必要です。

システム名	整備年度	内容
図書館蔵書検索システム	平成12年度	蔵書の検索や貸出、返却までの一連のシステム管理を行っています。蔵書検索については、だれでも町ホームページから行えるようになっています。
各種申請書のダウンロード	平成16年度	ホームページから各種申請書のダウンロードができます。

システム名	整備年度	内容
住民基本台帳ネットワークシステム	平成15年度	他市町村の窓口で、住民票の交付を受けることができます。
議会中継システム	平成19年度	議会映像をインターネットで配信しており、町ホームページにおいて視聴できます。過去の録画映像も視聴できます。
電子申請システム 「やまがた e 申請 (※)」	平成19年度	インターネットを利用してパソコンから住民異動、その他の申請手続きができるシステムです。しかし、添付書類の提出や発行書類の受け取り、手数料の支払等により役場の窓口まで行かなければならず、利便性が低く、現在は運用をしていない状態です。
地方税ポータルシステム（電子申告）	平成22年度	地方税の手続きについて、インターネットを通じて申告・申請・届出の受付を行っています。

(※)やまがた e 申請・・・山形県自治体 ICT 推進協議会において、協議会の構成団体である山形県と県内全市町村により共同で取り組み運営することとしている電子申請システム。インターネットに接続できるパソコン等を使って、山形県及び県内市町村に各種申請・届出等ができるサービス。

4. 行政における情報化の現状と課題

(1) 公共施設間のネットワーク整備

平成11年度に「自治体ネットワーク整備事業」を実施し、光ファイバー専用線による公共施設間のネットワーク整備を行いました。現在、役場、総合情報センター、健康福祉センター、病院、小中学校、各地区公民館等の公共施設が専用線により結ばれています。

小学校の統廃合により使用していない専用線があり、今後の維持管理、撤去等について検討する必要があります。

(2) 基幹系システム

住民記録、税情報などの基幹系システム(※)が基幹系ネットワークで連携され、役場、健康福祉センター等で稼働しています。基幹系ネットワークは、セキュリティ保護のため外部（通常のインターネット回線）とは接続できないようになっており、大切な住民情報が流出しないようになっています。

システムの運用に、多くの経費がかかっています。運用経費の削減が課題です。

(※)基幹系システム・・・住民及びその財産に関する情報を扱うシステム。具体的には、住民情報、税情報、戸籍、国保などを扱うシステム。

(3) 内部情報系システム

内部情報系システム(※)として、財務会計、人事給与システムなどが稼働しています。財務会計システムは、光ファイバー専用線を利用し、役場と公民館、小中学校等が接続され、事務の効率化が図られています。

基幹系システム同様、多くの経費がかかっており、経費の削減が課題です。

(※)内部情報系システム・・・役場内部の事務処理に関する情報を扱うシステム。

(4) 総合行政ネットワーク（L G W A N）

平成15年度、国の機関との情報交換等を行うため、総合行政ネットワーク（L G W A N(※)）を整備しました。

国や他の地方公共団体との情報のやり取りに、有効に利活用していくことが求められます。

(※) L G W A N・・・地方公共団体を相互に接続する、行政専用のネットワーク。府省間ネットワークである霞が関WANとも相互接続しており、国の機関との情報のやり取りができる。

(5) 白鷹町総合情報センター

役場庁舎と光ファイバー専用線で結ばれている白鷹町総合情報センターに、財務会計システムやグループウェア(※)などの内部情報系システムのサーバ(※)が設置されています。機器の保守管理については、総合情報センターの指定管理者である一般財団法人白鷹町アルカディア財団に委託しています。

同財団への指定管理の期間は平成26年度までとなっています。その後の

指定管理の状況によっては、保守管理の方法について検討が必要となります。

- (※)グループウェア・・・役場内における情報共有を図るシステム。具体的には、職員間のメール送受信、掲示板、スケジュール管理などが行えるシステム。
- (※)サーバー・・・ネットワーク上で、他のコンピュータからの要求に応じてサービスやデータ等を提供、保管するコンピュータ。

第3章 白鷹町における地域情報化の目標と今後の展開

1. 国、県における情報化施策

(1) 国における施策

国では、平成13年1月に「e-Japan戦略」、平成16年5月に「u-Japan構想」を掲げ、情報通信の基盤整備の推進及び情報通信技術の利活用に取り組んできました。平成22年5月には、それまでの戦略の延長線上から離れ、3本の重点戦略に絞り込んだ「新たな情報通信技術戦略」を策定、平成24年7月には「日本再生戦略」を策定し、情報化政策を展開しています。

日本再生戦略における重点施策

1. 国民本位の電子行政の実現

申請手続きや証明書入手における電子化 など

2. 情報通信基盤の構築

国民生活、経済活動等を支える強固な情報通信基盤の確立 など

3. 情報通信技術の活用による産業活性化

情報通信技術の徹底的な利活用による新市場の創出 など

(2) 山形県における施策

山形県においては、平成16年3月に「やまがたIT戦略2004」、平成19年2月に「山形県情報化推進アクションプラン2007」を策定し、高速通信網や携帯電話などの情報通信基盤の整備を推進してきました。その後、平成23年3月に「やまがたICT利活用ビジョン」を策定し、県内の情報化の推進に取り組んでいます。

ICTの利活用の視点

1. 利便性が高く安心して暮らせる地域社会の実現

県民生活における効果的なICTの利活用の推進（防災・防犯・医療・福祉・子育てなど）

2. 地域の様々な魅力や資源の活用

産業分野における効果的なICTの利活用

3. 行政運営の効率的な推進

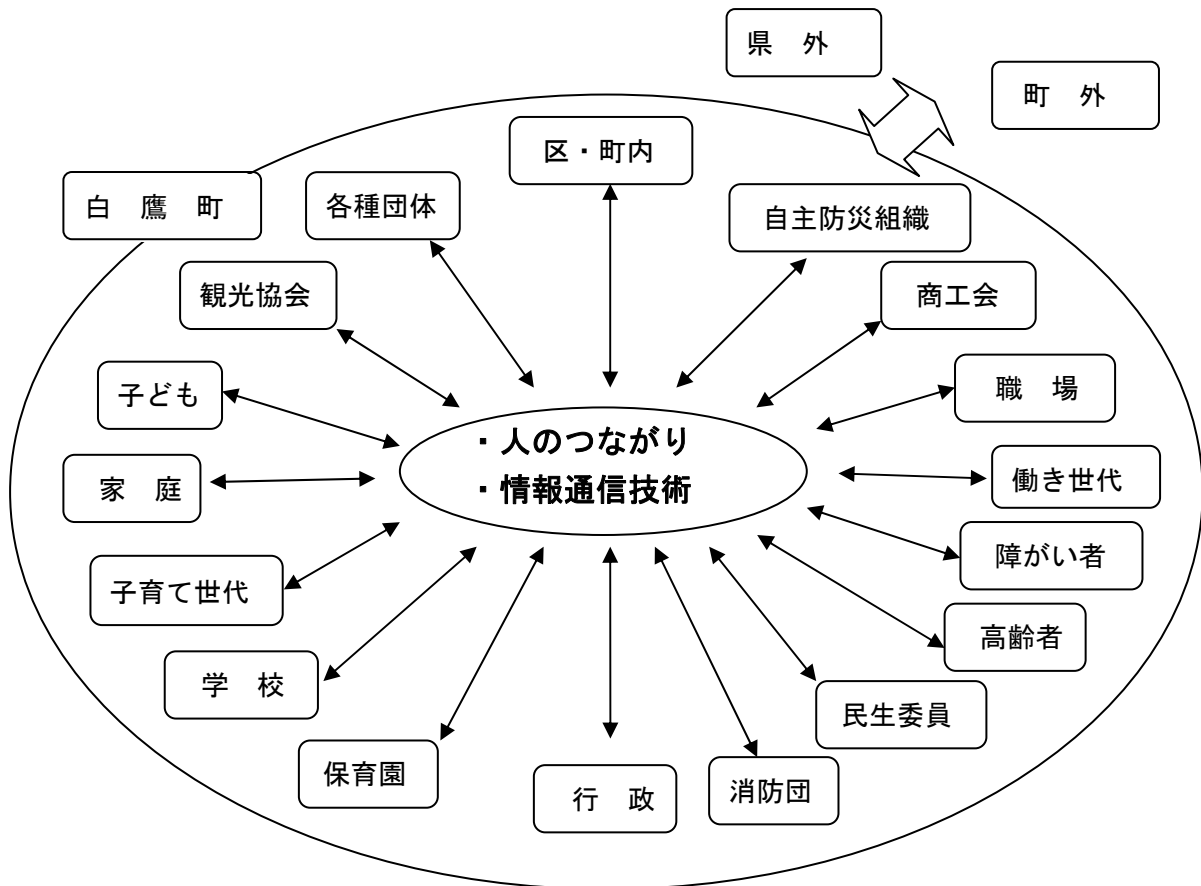
情報提供や情報共有、電子自治体の構築による効率的な行政運営

2. 白鷹町における地域情報化施策

基本目標

情報でつながる“笑顔かがやく”まち

地域、家庭、職場などにおける「人のつながり(コミュニティ)」と「情報通信技術」の相互作用により、あらゆる年代、あらゆる人がつながることができるネットワークを作り、笑顔で、安心して暮らせるまちを目指します。



重点目標

1. 情報通信技術の効果的な利活用
各分野における情報通信技術の利活用
2. 人的ネットワークの活用
地域や各種団体などのネットワークを活かした双方向の情報伝達
3. 行政事務の効率化
情報通信技術の利活用による行政事務の効率化

3. 地域における情報化の推進

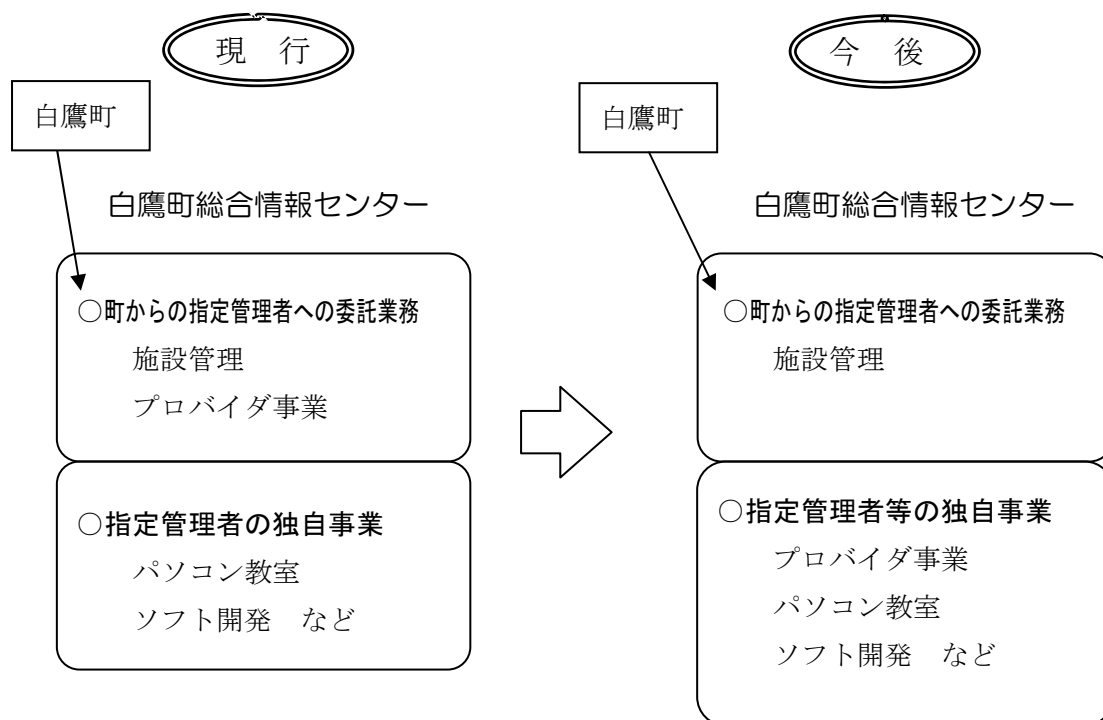
(1) 総合情報センターを中心とする地域情報化の推進

第5次白鷹町総合計画においては、「総合情報センターを中心とする情報化推進体制の充実を図る」としています。総合情報センターは、今後も、町の地域情報化推進の拠点施設として十分に機能していくことが期待されます。しかし、当町の状況は、総合情報センターの開設当時から大きく変化しています。総合情報センターのあり方についても、見直しを図るべき時期に来ています。

①プロバイダ事業の見直し

第2章の3「地域における情報化の現状と課題」において記述のとおり、当町におけるインターネット利用者の多くは、大手のプロバイダ事業者を利用しており、今後も継続して町がプロバイダ事業を実施していく意義は薄れていきます。

このような現状において、町が指定管理者への委託業務として行ってきた総合情報センターにおけるプロバイダ事業については、指定管理者の独自事業や民間事業者による運営として実施していくこととします。



②情報リテラシーの向上

総合情報センターにおいて、今後もマルチメディア教室を利用し、住民の方々が情報端末を操作する機会を創出します。パソコン教室等を通して、情報処理能力の向上、情報リテラシー(※)の向上を図ります。

(※)情報リテラシー・・・情報を使いこなす能力。情報を選択、収集、活用できる能力。

アンケート結果（住民アンケート）

白鷹町総合情報センターのパソコン講習会を受けたいですか？

選択肢	回答数
受講したことがあり、今後も受講したい	4 2
受講したことはあるが、今後は受講しない	2
受講したことはないが、機会があれば受講したい	1 2 4
受講したことがなく、今後も受講しない	5
無回答	4

パソコン講習会の潜在的な需要は多く、積極的な周知活動により受講者数を増やすことも可能であると思われます。

インターネットの利用方法や知識を得るには、どうしたら良いか？

選択肢	回答数
行政（白鷹町総合情報センターなど）による <u>パソコン講習会の開催</u> (※)	1 3 7
民間のパソコン講習会への参加	5 2
地域の公民館などを利用した講習会	9 7
知人・友人から教えてもらう	1 2 6
独学（書物・インターネット・メーカー問合せなど）	8 3
その他	1 1

友人等から教えてもらう、独学で覚えるという回答も多くありましたが、講習会を利用したいという回答数が上回っています。機器、環境が整った総合情報センターにおける講習会の開催が、最も有効であると考えられます。

(※)平成23年度は、町産業振興課からの委託事業として財団法人白鷹町アルカディア財団においてパソコン教室を開催しました。

(2) 難視聴区域の解消

地上デジタルテレビ放送については、ほぼ全域で視聴できる状態にありますが、山間部において一部視聴が困難な箇所があります。また、携帯電話、ラジオそれぞれにおいても、利用ができない箇所があります。今後も、それぞれの関係団体や事業者等へ改善の要望をしていきます。

(3) 住民と行政の情報交流と共有

地域や住民の方々とのつながりを大切にし、広報紙の発行やまちづくり座談会、ホームページ等を通して、情報交流、共有に努めます。

① 人的ネットワークの活用

情報通信技術が浸透しているとはいえ、すべての人が利用できるわけではありません。また、災害時は、情報通信機器が使用できないこともあります。このような中において、人的ネットワークを利用した情報伝達は重要なものとなります。町には自治会をはじめ、消防団、民生委員、各種団体など多くの組織、コミュニティが存在します。人、地域、組織、行政の結びつきを密にし、情報通信機器のみに頼らない情報伝達を行っていきます。

② 広報紙の充実

情報を共有するためには、行政側が発信する情報が広く確実に住民の方々に届くことが必要となります。情報通信機器が発達した現在においても、当町における住民の方々への情報発信で最も有効な手段は、広報紙や町内配布文書であると考えられます。情報通信機器による情報発信は、その機器を利用できる方々への発信に限られますが、広報紙は、基本的に全戸配布であるため、広く住民の方々へ情報発信を行うことができます。

今後も、紙面による情報発信の有効性を十分に活かし、見やすくわかりやすい紙面作りに取り組み、広く情報が伝わるよう充実を図っていきます。

また、広報モニターを設置し、広報紙や町ホームページに対する意見、要望等を把握し、より良い紙面づくり、情報提供を行っていきます。

アンケート結果（住民アンケート）

行政情報や地域情報をどのような方法で入手していますか？（複数回答可）

選択肢	回答数
広報しらたかや町内配布文書	468
新聞・テレビ	146
白鷹町のホームページ	69
知人・友人から	52
公民館	24
電話や直接窓口での問い合わせ	24
その他	4
無回答	19

アンケート結果（事業所アンケート）

事業所に関係する町の情報をどのような方法で入手していますか？

選択肢	回答数
広報しらたか	78
商工会・観光協会	50
白鷹町のホームページ	43
担当課からの通知	34
新聞・テレビ	19
知人・友人から	17
電話や直接窓口での問い合わせ	17
その他	4
無回答	0

住民アンケート、事業所アンケートとも、広報しらたかや町内配布文書から情報を得ているという回答が最も多いという結果でした。

③ホームページによる情報発信の充実

ホームページによる情報発信について充実を図ります。ホームページの利点は、情報伝達の早さと情報量です。その利点を十分に活かし、緊急情報、各種手続きやイベントなどの詳細な情報の掲載を行います。

また、より迅速に情報の掲載ができるよう、職員の操作研修を実施します。

④まちづくり座談会等の実施

引き続きまちづくり座談会を開催し、住民の方々からの意見・要望の聴き取りや行政からの重要施策の説明を行い、直接対話による情報交流、情報共有に努めます。より多くの年代の方々に参加していただけるよう、周知方法について工夫をしながら実施していきます。

重要施策については、その都度、関係団体等への説明会を開催し、必要に応じて経過等を広報紙やホームページ等に掲載し、広く情報提供し、まちづくりに役立てていきます。町職員による出前講座についても継続して実施し、双方向できめ細やかな情報交流に努めます。

また、広報直通便も継続して実施し、住民の方々からご意見・ご要望をお寄せいただく機会を設けます。

⑤SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について

近年、新しいコミュニケーションツールとして、フェイスブックに代表されるSNSが普及しています。地方公共団体においても、観光情報の発信、災害時の情報伝達に活用している例が見られます。

SNSは、情報をリアルタイムで発信することができ、また、多くの人に情報を発信できるという利点がありますが、その反面、誤った情報を発信してしまうと修正が難しいなど、利用方法を誤ると取り返しのつかないことになる可能性があります。また、受信者側のモラルも要求され、利用者全員（発信者・受信者）でルールを守り利用していくことが必要となります。

情報発信・共有の手段としては有効であると考えられますが、町としての利用については十分な検討が必要であると考えます。

（4）福祉・医療、防災・災害、産業・観光などの情報化

福祉・医療

少子高齢化が進み、今後、ますます高齢者のみの世帯や単身世帯が増えていくことが予想されます。一人暮らしの方の見守り、広域連携した医療体制、地域内における相互扶助の支援体制の充実を図ります。

①地域生活あんしんネットワーク事業の実施

現在実施している地域生活あんしんネットワーク事業を継続実施し、高齢者世帯等を対象に緊急通報機器の設置を行い、安心して暮らしていけるよう支援をしていきます。

②民生委員との連携

民生委員との連携を密にし、情報把握、情報共有を図りながら見守り体制の充実を図ります。災害時要援護者台帳システムについても継続稼働し、災害時に迅速な対応ができる体制を整えます。

③置賜地域医療情報ネットワークの活用

医療については、今後も置賜地域医療情報ネットワークシステム（OKI-net）を十分に活用し、他の医療機関と連携を図りながら地域医療の充実を図っていきます。現在、町立病院から他の医療機関への診療情報の提供を行っていませんが、今後、情報の提供について検討します。

④健康情報システムの更新、電子カルテ・在宅の健康相談システムの導入検討

住民の方々の健診等の管理を行う健康情報システムについては、より利便性が向上したシステムへの更新を行います。システムを活用し、健診申し込みから健診結果、未受診者の把握などを一元管理し、受診勧奨等を行い住民の方々の健康増進を図ります。

また、往診時に電子カルテを参照できるシステムや在宅で健康相談を受けられることのできるシステムの構築の検討を行います。

防災・災害

防災、災害においては、「情報」が最も重要です。各システムを活用し状況を把握し、災害発生時には、あらゆる手段、あらゆるメディアを利用して情報を伝達できるような体制の整備を図ります。

①防災システムの稼働

現在稼働中の最上川監視システムや全国瞬時警報システム「Jアラート」などを利用しながら、迅速な情報把握を行います。緊急情報については、町ホームページに掲載します。

②災害時要援護者台帳システムの活用

災害時要援護者台帳システムを利用し、災害時に援護が必要な方への迅速な対応を行います。

③公共情報コモنزの導入

災害時には、あらゆるメディアを通して情報伝達を行うことが重要となります。「公共情報コモنز(※)」は、地方公共団体等からの緊急性の高い情報を、テレビ、ラジオ、携帯電話など様々な情報メディアを通して伝えることができるというシステムです。現在は、参加メディアがまだ少ないという状況もあるようですが、今後、多くのメディアの参入を期待し、整備が整い次第、導入します。

(※)公共情報コモنز・・・災害時の避難勧告や指示、避難所情報など自治体から発信する情報を、一括して各種メディア（テレビ、ラジオ、携帯電話など）を通して伝えることができる仕組み。自治体においては、通信事業者ごとに情報発信をする手間が省け、住民においては、多様なメディアを介して情報を受信することができるようになる。

④臨時災害放送局

大規模に避難勧告が出るような大災害時には、簡易な手続きにより臨時災害放送局を開局するという手段があります。大災害時には、当町だけでなく近隣市町も被災することが考えられますので、置賜管内の市町間で連携しながら対応していくことが想定されます。

⑤ソーシャル・ネットワーキング・サービスについて

災害時の情報発信手段として、SNSを活用する自治体も増えています。SNSについては危険性もあるため、町におけるSNSの活用の仕方を十分に研究したうえで、導入の検討を行っていきます。

産業・観光

産業分野については、各事業者や生産者において情報化を推進していただくことが基本となります。光ファイバー通信網の整備により、インターネットの通信環境は向上していますので、その性能を十分に活用しながら情報発信等を行っていただくことを期待します。町においては、ホームページを活用しながら、地域産業の情報や特産品の情報などを広く町内外に発信し、産業の活性化を図っていきます。

観光分野においては、白鷹町観光協会を中心に情報発信を行っていきます。

町のホームページにおける観光情報の発信についても充実を図ります。観光ニーズは多様化が求められ、情報発信の在り方も変化しています。今後は、観光協会との連携を図りながら、動画の配信など、新たな情報提供の仕方について検討していきます。

また、熊などの獣害注意報については、広報車による町内巡回及び町ホームページへの掲載を行い、注意喚起をします。

アンケート結果（住民アンケートのみ実施）

白鷹町のホームページで充実してほしい情報は？（複数回答可）

全回答数1067中、上位5項目

選択肢	回答数
観光	106
防災・災害	92
健康・健診	91
年金	83
町政情報（各種計画・統計・制度・財政状況など）	76

（5）小中学校の情報教育（教育関係のICT活用）の充実

様々な情報通信機器が身近にあふれ、生活の一部となっている現在、子どものころから機器の操作に慣れ親しむこと、何より、情報を適切に活用する方法を習得することはとても重要です。

私たちは、情報通信機器によって必要な知識や情報を得、人や社会とつながっています。学校教育の分野においても、情報通信機器を活用することで、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、主体的に学ぶ意欲、情報社会へ参画する態度の育成などに効果があるものと期待されます。

今後も引き続き、整備された機器等を有効に活かしながら、小中学校の情報教育を推進していきます。

（6）住民向けサービスの実施

インターネット等を利用した住民向けサービスについて、現在実施しているものについて、引き続き実施していきます。

また、現在、国において検討されているマイナンバーが導入された際は、インターネット等を利用して受けることのできるサービスの充実が図られることが想定されます。

①地方税ポータルシステムの利用促進

地方税ポータルシステムは、例えば事業所における給与支払報告書の提出などを、インターネットを利用して行うことができるシステムですが、利用事業所数はまだ少ない状況です。町の事務のみならず、事業所の事務の効率化にもつながるものであるため、今後、より利用率が上がるよう周知に努めます。

②証明書等のコンビニ交付の検討

国においては、「2020年までに、主要な申請手続や証明書入手を週7日24時間、ワンストップで行うため、2013年までに、コンビニ等の端末を通じて国民の50%以上が利用できるようにする」という目標を掲げています。今後、マイナンバーが導入された際は、個人番号カードが発行され、コンビニ等での証明書の発行にその個人番号カードが必要になると言われています。個人番号カードが普及することにより、コンビニ交付への要望もより高くなることが想定されます。現在、山形県内においてコンビニ交付を行っている市町村はありませんが、近隣市町村の動向も見ながら、また、費用対効果を検証したうえで導入の検討をしていきます。

③電子申請の実施

各種証明書等の電子申請については、「やまがたe申請」によりシステムとしては利用できる状態にありますが、現在、利便性が低いため運用していない状況です。今後、申請をするにあたり手数料の発生しないものや公的個人認証(※)の必要のないような簡易なものについて、電子申請による受け付けを実施します。また、利便性の向上について、引き続き山形県に要望していきます。

(※) 公的個人認証・・・インターネットを通じて行政手続を行う際に、「なりすまし」や「改ざん」を防ぎ、安全で確実な手続を行うための電子証明。住基カードに記録され、発行します。

4. 行政における情報化の推進

(1) 共同アウトソーシングの導入

平成20年に、置賜管内の3市4町において、役場内の業務の電算システムについて、同じパッケージの電算システムを共同利用する置賜電算共同アウトソーシングを導入することとなりました。当町においては、平成25年度から12業務について導入稼働します。(一部業務は平成24年度から稼働中)

対象業務

住民情報・税情報・国保と年金・選挙投票・福祉（保育料・児童手当）
介護保険・医療費助成・後期高齢者医療・学齢簿
上下水道料金・財務会計・人事給与

①運用経費の削減

現在、役場内のほとんどの業務において電算システムが導入されていますが、これまでは、業務ごと個別の電算システムを導入し、それぞれカスタマイズを行い運用してきました。カスタマイズには多額の費用がかかり、また他業務の電算システムとの連携のための改修費用も発生します。

共同アウトソーシングにおける電算システムは、原則的にカスタマイズを行わないこととなっており、カスタマイズにかかる多額の費用を抑えることができます。また、各業務共通の電算システムであるため、連携にかかる費用も発生しません。他市町との共同利用により、運用経費も抑えることができます。

②住民情報の管理・セキュリティの向上

住民情報データを管理するサーバーについては、システム導入業者所有の仙台市内にあるデータセンターに設置し、県高速基幹ネットを利用しデータのやり取りを行います。データセンターは、先の東日本大震災時にも影響がなかったという強固な施設であり、またセキュリティやバックアップ体制についても徹底しています。より安全な設備の中で、大切な住民情報データを管理していくことができます。

(2) 総合情報センターにおける行政システムの管理運用

現在、総合情報センターに行政システムのサーバーが設置されており、管理運用については、一般財団法人白鷹町アルカディア財団へ委託しています。今後、総合情報センターの指定管理の状況に応じて管理運用体制を検討し、適切に対応していきます。

(3) 公共施設間の光ファイバー専用線について

町内全域に光ファイバー通信網が整備されたため、公共施設間の通信網について、光ファイバー専用線から一般の光ファイバー通信網へ移行することが考えられます。しかし、光ファイバー専用線を撤去するためには、相当の費用がかかるものと想定されるため、当分は継続して利用していきます。

(4) 総合行政ネットワーク（LGWAN）の活用

各種申請手続き等の電子化が推進される中、今後、ますますLGWAN回線の利活用が増えるものと想定されます。引き続き保守管理を行い、適切に運用していきます。

資 料

計画策定にあたり、平成24年5月に一般住民1,007世帯、平成24年7月に町内184事業所を対象とし、アンケート調査を実施しました。

○地域情報化に関するアンケート調査結果(住民アンケート)

回答数:513 回答率:51%

問1 あなたの性別は？

513人のうち、

■ 男性	326
■ 女性	183
■ 回答無	4

問2 あなたの年齢は？

513人のうち、

■ 10代	4
■ 20代	18
■ 30代	37
■ 40代	81
■ 50代	131
■ 60代	153
■ 70代以上	87
■ 回答無	2

問3 あなたの職業は？

513人のうち、

■ 会社員	189
■ 自営業	59
■ 農林業	24
■ 公務員	36
■ 学生	2
■ パート・アルバイト	26
■ 無職	110
■ 家事専業	31
■ その他	32
■ 回答無	4

問4 あなたを含め、ご家族(同居されている方)は何人ですか？

513人のうち、

■ 1人	43
■ 2人	130
■ 3人	97
■ 4人	97
■ 5人	67
■ 6人	50
■ 7人	14
■ 8人以上	13
■ 回答無	2

問5 あなたのお住まいの町内名をご記入ください。

513人のうち、

■ 蚕桑	64
■ 鮎貝	144
■ 荒砥	108
■ 十王	30
■ 鷹山	44
■ 東根	75
■ 回答無	48

問6	機器について、あてはまるものを選んでください。【パソコン】 513人のうち、	
	■ 所有	366
	■ ほしい	39
	■ 必要ない	77
	■ 回答無	31

	機器について、あてはまるものを選んでください。【携帯】 513人のうち、	
	■ 所有している	447
	■ ほしい	12
	■ 必要ない	35
	■ 回答無	19

	機器について、あてはまるものを選んでください。【テレビ】 513人のうち、	
	■ 所有している	497
	■ ほしい	1
	■ 必要ない	5
	■ 回答無	10

問7	パソコンや携帯電話などを使ってインターネットを利用していますか？ 513人のうち、	
	■ 利用している	307
	■ 利用していない	201
	■ 回答無	5

問8	問7で「2. 利用していない」と回答された方。インターネットを利用していない理由は何ですか？ 201人のうち(複数回答あり)、	
	■ 興味がない・必要がない	79
	■ パソコンやインターネットの料金が安い	59
	■ パソコンなどの操作を覚えるのが面倒である	53
	■ どうやって利用すれば良いかわからない	38
	■ どのようなことができるのかわからない	30
	■ 個人情報侵害されるのではないかと心配である	29
	■ 接続や設定が面倒である	27
	■ パソコンや携帯電話などを持っていない	27
	■ 通信環境が整っていない	14
	■ 講習を受ける機会がない	12
	■ その他	8
	8人のうち、	
	▽ お金がかかるから。	
	▽ 便利なものは金がかかりすぎです。なんでも全てですね。パソコンに興味がない訳ではありません。	
	▽ ケイタイ、スマホで充分である。	
	▽ 利用したいと考えてはいるが時間があまりない。	
	▽ 老人2人でするので必要感じず。	
	■ 回答無	11

問9	問7で「2. 利用していない」と回答された方。インターネットを利用してみたいとお考えですか？ 201人のうち、	
	■ 利用してみたい	65
	■ 今後も利用しない	114
	■ 回答無	22

問10 問7で「1. 利用している」または問9で「1. 利用してみたい」と回答された方。
インターネットをどのようなときに利用していますか？または利用したいですか？
372人のうち(複数回答あり)、

■ 情報の検索(ニュース・天気・教養・趣味など)	325
■ 商品の購入(ネットショッピング)	228
■ 施設やホテルなどの利用予約	204
■ 電子メールの送受信	200
■ 動画、音楽の視聴	153
■ 仕事で使う	144
■ 音楽のダウンロード	94
■ ゲーム	71
■ 銀行の手続きや金融・株の取引	64
■ フェイスブックやツイッターなどを利用する	30
■ ホームページやブログを開設している	25
■ その他	6
6人のうち、	
▽ 電子マネーの残高照会	
▽ 部落の役職の資料づくり	
■ 回答無	6

問11 問7で「1. 利用している」と回答された方。利用しているプロバイダはどこですか？

307人のうち(複数回答あり)、	
■ 利用している・・・ブララ	100
■ 利用している・・・OCN	62
■ 利用している・・・SGIC	35
■ 利用している・・・e-jan	8
■ 利用している・・・ODN	2
■ 利用している・・・その他	41
41人のうち(抜粋)、	
▽ Biglobe	7
▽ ic-net	4
▽ so-net	2
▽ dion	2
▽ トツパ	2
▽ nifty	2
■ 利用している・・・わからない	39
■ 回答無	25

問7で「1. 利用している」または問9で「1. 利用してみたい」と回答された方。
これから利用したいプロバイダはどこですか？

372人のうち(複数回答あり)、	
■ 使用したい・・・ブララ	1
■ 使用したい・・・OCN	1
■ 使用したい・・・ODN	0
■ 使用したい・・・SGIC	3
■ 使用したい・・・e-jan	0
■ 使用したい・・・その他	0
■ 使用したい・・・わからない	51
■ 回答無	317

問12 問7で「1. 利用している」と回答された方。ご自宅のインターネットの利用回線は何ですか？

307人のうち(複数回答あり)、	
■ 光ファイバー	231
■ ADSL回線	40
■ ISDN回線	1
■ モバイル通信	31
■ その他	0
■ 回答無	16

問13	問12で「1. 光ファイバー」以外と回答された方。今後、光ファイバー回線を利用したいですか？ 76人のうち、	
	■ 利用したい	23
	■ 今後も利用しない	31
	■ 回答無	22

問14	問13で「2. 今後も利用しない」と回答された方。光ファイバー回線を利用しない理由は何ですか？ 31人のうち(複数回答あり)、	
	■ 光ファイバー以外の回線による接続でも不便を感じない	25
	■ 月額料金が高い	23
	■ 携帯電話・スマートフォンなどのモバイル通信のみの利用で足りるため	9
	■ 回線工事料金がかかるため	3
	■ その他	2
	2人のうち、	
	▽ あまりパソコンを使用しないため。	
	▽ 手続きがめんどろ。	
	■ 回答無	2

問15	パソコン講習を受講したことがありますか？また、今後、受講したいですか？ 414人のうち、	
	■ 受講したことがあります、今後も受講したい。	63
	■ 受講したことはあるが、今後は必要ない。	80
	■ 受講したことはないが、機会があれば受講したい。	114
	■ 受講したことがなく、今後も必要ない。	157

問16	問15で「1. 今後も受講したい」または「3. 機会があれば受講したい」と回答された方。 白鷹町総合情報センターでのパソコン講習会を受講したことがありますか？また、今後、受講したいですか？ 177人のうち、	
	■ 受講したことがあります、今後も受講したい。	42
	■ 受講したことはあるが、今後は受講しない。	2
	■ 受講したことはないが、機会があれば受講したい。	124
	■ 受講したことがなく、今後も受講しない。	5
	■ 回答無	4

問17	パソコン講習を受講する場合どのような内容を希望しますか？ 177人のうち(複数回答あり)、	
	■ 写真・映像の編集	93
	■ 文書作成(ワードなど)	71
	■ 表計算(エクセルなど)	69
	■ ホームページやブログの作成	62
	■ インターネット・メール	57
	■ その他	11
	11人のうち、	
	▽ ちょっとした操作がわからないときすぐ聞ける状態でないと面倒になってしまう。	
	▽ 音楽ダウンロード	
	▽ キャドの作成	
	▽ フェイスブック、ツイッターなどの利用	
	▽ 商品の購入、施設の利用等	

問18 インターネットの利用方法や知識を得るには、どうしたら良いと思いますか？

399人のうち(複数回答あり)、

■ 行政(白鷹町総合情報センターなど)によるパソコン講習会の開催	137
■ 知人・友人から教えてもらう	126
■ 地域の公民館などを利用したの講習会	97
■ 独学(書物・インターネットによる情報検索や情報交換・メーカーへの問い合わせなど)	83
■ 民間のパソコン講習会への参加	52
■ その他	11
11人のうち、	
▽ 会社等	
▽ 生活していて生涯必要であれば受講する。	
▽ わからない	
▽ 様々といじって覚えるのみ。	
▽ 知りたい人は、どんな方法でも探しておぼえる。	
▽ 町でボランティア等を募集し、インターネットに困った人がいたら電話をもらい、その方の家に行き、その場でお教える。	

問19 「白鷹町のホームページ」を見たことがありますか？

■ 見たことがある	229
■ 見たことがない	200

問20 「白鷹町のホームページ」で充実してほしい情報は何ですか？(複数回答可)

■ 観光	106
■ 防災・災害	92
■ 健康・健診	91
■ 年金	83
■ 町政情報(各種計画・統計・制度・財政状況など)	76
■ 税金	64
■ 子育て	55
■ 就労	54
■ 環境情報	46
■ 文化芸術	45
■ 高齢者	44
■ 教育	44
■ 生涯学習	42
■ 健康保険	37
■ スポーツ	35
■ 交通情報	29
■ 農業	28
■ 議会	28
■ 障がい者	17
■ 公民館	15
■ 商工業	14
■ 土木・建設	6
■ その他	16
16人のうち、	
▽ 今のところ不足なし。	
▽ 情報の一元管理	
▽ ごみの分別	
▽ 空き家への町外からの永住案内	
▽ 全部充実してほしい。	
▽ 減税や補助金	
▽ 各種手続の案内	

問21 「白鷹町のホームページ」で新たに提供してほしい情報がある場合はその内容をご記入ください。

- ▽ 山岳道路の道路情報(登山、山菜取り等に役立つ)
- ▽ 町外からのメール、町出身の方のメール、町に観光に来た人のメールなど
- ▽ 証明書関係や必要のある書類もインターネットでも取れるようにしてほしい。
- ▽ 学校年間行事等
- ▽ もっと、らかな暮らし
- ▽ ハローワーク長井求人雇用情報が飯豊町のHPにはあるので、白鷹町のHPにも掲載してほしい。総計情報は、山形県のHPも白鷹も、古い情報しか得られません。今後ますます情報流通が盛んになる昨今、PCに変わる端末も増えるのではと期待します。
- ▽ 形だけのHPでは意味がない。目的意識が必要です。
- ▽ 町の予算の詳細について、使われかた等、素人でもわかりやすく広報紙にて解説していただければありがたい。
- ▽ 白鷹町には四季の郷や各部落に空き家や畑が沢山あります。是非お出で下さいを全国に発信しては如何かと思えます。家族で来町される仕掛けをする部署を、一つの課内に作って見たらどうか。発想と行動力のある集団を作るべき時が来ている！
- ▽ 地震などの災害時に、広報車による周知や、各公民館などに行けば詳しい情報がわかるなど、老人、1人暮らしの方にも徹底した知らせをお願いしたい。ネットワークづくりをしっかりと今から作っておくような感じで進めてほしいです。
- ▽ 各地区のお祭りの情報
- ▽ あゆ茶屋や観光スポット、最上川、フラワー長井線などに、ライブカメラを設置し、県外に情報発信し白鷹町をアピールする。
- ▽ どりーむ農園の旬の野菜や白鷹町特産品について
- ▽ 各大会の申込など(スポーツ大会など)、各施設の利用状況(どんな大会をしているか)
- ▽ 教育(学校関係)
- ▽ 町の出来事(アラカルト)
- ▽ ツイッターなどの情報
- ▽ 歴史と将来像
- ▽ 情報の追加より、今は見やすさと充実(誰が見てもすぐに理解できる表現)
- ▽ 食品や学校などの放射線測定値や安全性・再生可能エネルギーなどに関する情報
- ▽ 地域づくりや地域おこしの活動等の情報を提供するページを充実してほしい。

問22 白鷹町では、現在、インターネット・メール・電話回線を利用し下記のサービスを行っています。それぞれについてあてはまる箇所を選んでください。

■ 議会中継【視聴している】	41
■ 議会中継【知っていたが視聴していない】	154
■ 議会中継【知らなかった】	159
■ 図書館情報検索【利用している】	22
■ 図書館情報検索【知っていたが利用していない】	105
■ 図書館情報検索【知らなかった】	211
■ 各種申請書のダウンロード【利用している】	27
■ 各種申請書のダウンロード【知っていたが利用していない】	138
■ 各種申請書のダウンロード【知らなかった】	174
■ 町の例規集の検索【利用している】	31
■ 町の例規集の検索【知っていたが利用していない】	80
■ 町の例規集の検索【知らなかった】	218
■ 災害時緊急速報メール【知っている】	96
■ 災害時緊急速報メール【知らなかった】	238
■ 緊急通報器の設置【知っている】	81
■ 緊急通報器の設置【知らなかった】	255

問23 行政情報や地域情報をどのような方法で入手していますか？

513人のうち(複数回答あり)、

■ 「広報しらたか」や町内配付文書	468
■ 新聞・テレビ	146
■ 白鷹町のホームページ	69
■ 知人・友人から	52
■ 公民館	24
■ 電話や直接窓口での問い合わせ	24
■ その他	4
4人のうち、	
▽ 別に興味が無いので調べない。	
▽ インターネットで	
■ 回答無	19

問24 「広報しらたか」についてお尋ねします。あてはまる箇所を選んでください。

513人のうち、

■ 非常にわかりやすい	45
■ わかりやすい	236
■ どちらかというわかりやすい	166
■ どちらかというわかりにくい	36
■ わかりにく	4
■ 非常にわかりにくい	1
■ 回答無	25

問25 あなたのご自宅でのテレビの受信状態で、それぞれあてはまる箇所を選んでください。

513人のうち、

■ NHK【良く映る】	478
■ NHK【チラつく】	14
■ NHK【映らない】	2
■ 回答無	19
■ 山形放送(YBC)【良く映る】	479
■ 山形放送(YBC)【チラつく】	11
■ 山形放送(YBC)【映らない】	1
■ 回答無	22
■ 山形テレビ(YTS)【良く映る】	478
■ 山形テレビ(YTS)【チラつく】	10
■ 山形テレビ(YTS)【映らない】	1
■ 回答無	24
■ テレビユー山形(TUY)【良く映る】	477
■ テレビユー山形(TUY)【チラつく】	9
■ テレビユー山形(TUY)【映らない】	1
■ 回答無	26
■ さくらんぼテレビ(SAY)【良く映る】	470
■ さくらんぼテレビ(SAY)【チラつく】	14
■ さくらんぼテレビ(SAY)【映らない】	1
■ 回答無	28

問26 あなたは今後どのような情報関連の施策があればよいとお考えですか？

513人のうち(複数回答あり)、

■ インターネットやテレビ電話での医療・健康相談	150
■ 高齢者見守りシステム(離れたところから安否が確認できるものなど)	140
■ 防災・火災情報のメール配信(災害時緊急速報メールの配信以外)	136
■ 住民票等の自動交付機設置	130
■ 各地区の災害情報用屋外スピーカーの設置	127
■ 税金や公共料金のコンビニ・ネットバンキング・クレジットカードでの支払い	118
■ パソコンや携帯電話からの各種申請・届出(電子申請)	113
■ 子育て・介護・イベント・観光などの情報のメール配信	102
■ 紙面(広報紙など)による情報提供の充実	94
■ 児童見守りシステム(登下校時位置情報・不審者情報など)	92
■ 各家庭への災害情報用受信機器の設置	90
■ 公共施設の空き状況の確認や予約	89
■ 行政情報(各種手続き案内等)のメール配信	62
■ デマンドタクシーのパソコン・携帯電話からの予約	50
■ 農業・商業などの情報発信などを行うポータルサイトの開設	39
■ 住民参加型のコミュニティーサイトの開設	34
■ ツイッターなどを利用した情報提供	23
■ その他	15
15人のうち、	
▽ 全て古いやり方	
▽ 老人ホーム、介護施設等の空き状況	
▽ 全部	
▽ 内容がよくわからない。	
▽ 光通信の事も価値観が色々なのでむずかしいです。	
▽ なんとといっても防災！！	
▽ 他県では公共料金はコンビニで払えます。白鷹町でも希望します。	
▽ 学校での非常時の保護者へのメールの送信対応	
▽ 防災対策の充実(具体的にこの家庭はどこに避難するのかわかっているのかの確認、アンケート等) ツイッターなどを利用した安否確認のシステム	
▽ 小学校の行事情報など。	
▽ 総合型スポーツクラブかスポーツの情報。ほかの町内の大会など。	
▽ 「デマンドタクシーのパソコン・携帯電話からの予約」は、あっても高齢者は無理。	
■ 回答無	94

問27 町の情報化施策について、ご意見やご要望があればご自由にお書きください。

513人のうち、

- ▽ FM山形受信出来る様にしてほしい。
- ▽ 情報が出すぎるので情報の管理を厳重にやってほしい。
- ▽ 町外県外へ情報発信してほしい。
- ▽ 必要のないと思われる道路が拡張されたり立ちのきまで行なわれたりしている。どうい理由で拡張が必要なのかホームページ上で情報を公開すべきである。
- ▽ 若い人達には色々な外国語もスナリ受け入れられても、ある程度年令が進むとツイッターってなに、デマンドってなに、いちいちカタカナ用語のカベにはばまれ先になかなか
- ▽ 地域の情報化はハードを満たせばいいというものではない。光ファイバー整備にお金を使うぐらいなら、少しでも町民税を安くする等、頭を使ってほしい。その方が町も活性化するだろう。全国にない唯一無二の白鷹町を目指していただきたい。
- ▽ 各地区の災害情報用屋外スピーカーの設置を実現してほしい。
- ▽ 町内の畑で採れた野菜等を随時放射能検査して公表してほしいです。
- ▽ 町民の暮らしを、就職できる企業を、又、税金は全国的にどの程度高いのか安いのか、固定資産、国保、水道料と全国での表にした物が…私は収入が少ないので…。
- ▽ 更新は早目に。
- ▽ 高齢者世帯や1人暮らしが増えている。災害等(停電等)では情報を得るのが不足している。情報が得られるシステムが必要と思われる。
- ▽ 光ファイバーにしたけれどあまりメリットが無い。料金が安い。
- ▽ 町のホームページを見ても何の魅力も感じない。公務員が作成した感じ…。
- ▽ 機材の無料貸出し(長期)
- ▽ 若者が町離れしない様な対策をお願いします。(パソコンで興味のある事案を立てて下さい。)私の家も、後継者が残らない様です。

- ▽ 毎月の配布物が多すぎます。見ないでしまう物もあります。もっと集約できないか？
- ▽ パソコン初心者講習を受けたが、各分野毎に〇〇ボタンを押して下さい、次に〇〇ボタンを押して下さいと言われ理解出来て面白いが、終わったら何も出来ない。自分でも家で出来るようボタンを押す順序をテキストに書いていないのがっかりして何も出来ない。書類作成(案内状)、縦書きの文書作成だけ出来ればと思いますが出来ない状態である。
- ▽ 情報通信について知識をもっていないと回答できない項目が多い。
- ▽ かなり上から目線のアンケートである。あなた方(公務員さん)が一般の人からどう見られているのか、認識してから始めたらどうですか？
- ▽ 講習会の年間計画を示していただきたい。
- ▽ HPを見てまだまだ知りたい情報は少なく、町報、おしらせ紙の内容とも重複し、各統計情報もH17年度と古いものが山形県のHPIにも見られます。また、今度IT化が進み、各種手続等の簡素化につながるものと期待します。
- ▽ パソコンの操作に困った時に、やすい料金で質問、相談できる所があればいいと思
- ▽ 初めからもっと詳しく説明してほしい。
- ▽ 情報化で個人情報が出回っているのではないかと心配です。悪用されていないか？よって、あんまり情報化はしてほしくないです。
- ▽ 電話料金と同額程度で利用出来る料金体系になってほしい(基本料金含めて)。
- ▽ 交通安全と消防の広報はよく見掛けますが、台風や水害等もTVだけで無く広報車を廻したら如何でしょうか？
- ▽ なんでも、インターネットにすればいいものでもないと思う。
- ▽ 初心者向(老人)のパソコン講習を希望します。
- ▽ 町全域に光ファイバーのインフラが整っていますので、高齢化社会の到来に伴い中高年層のネット利用の促進が、町全体の生活環境の向上につながるものと思われま
- ▽ ネット利用の多くは趣味の域を越えない程度がほとんどと思われま
- ▽ すが、通信費用の無料化が実現すれば、税、健康保険、環境や防災等で大巾な改善が期待されま
- ▽ すので、英断をもってこれに取り組んでもらえれば、田舎のちっぽけな町でも安心、安全、住みよい町として内外から評価されるものと思われま
- ▽ す。
- ▽ 東置賜ではケーブルテレビが普及していますが、西置賜でも提携を検討してみてもどうでしょうか。(行政組合は東置賜と一部連携しているわけですが、今後に向けて)
- ▽ SGICの利用料金を安く！
- ▽ 町報は、今まで通り渡して頂ければいいと思
- ▽ います。
- ▽ 全家庭に光ファイバーを引き込み、更なる高度情報化の取組みを推進していただき
- ▽ たい。(相応の町の負担も考慮して)
- ▽ 情報と関係ないが、世界の農業事情の情報など、町の電気を町で生み出す計画。世界のモデルに！
- ▽ 現状、町の災害等の緊急連絡網も確立されていない中、電子化による施策のみを重視するべきではない。(まして老人家族が多くなる中)一度原点にかえって考えるべき。
- ▽ ラジオ受信状況がよくなってほしい。町ですべきもの町民ですべきものを維持管理まで含めて施策を検討してほしい。
- ▽ 一番必要な人たちが利用しやすいようにして下さい。
- ▽ スポーツなど教育委員会などのデータの更新を早くしてほしい。
- ▽ 町の事業計画は年度当初の広報誌等で提示されますが、その後の進展状況がわかりません。各課毎の取組事業内容や途中経過及び進展具合を毎月の広報誌でお知らせ頂ければ、町民も町政に関心を持ち一体となった良い事業が出来るのではないでしょ
- ▽ か。
- ▽ 情報ツールの狭間の時代かも知れないが、昔ながらの手法も残しつつ、最新の道具を誰もが使える様な環境を整備していないと、全ての分野で相手にしてもらえなくなっ
- ▽ てしまうかも知れない。
- ▽ 町報に入って来るハガキについてですが、差出し人が本名書かなければいけないのですか？匿名だけでいいのでは。本名を書けば言いたい事も言えないと先日ある会合で話題になりました。別に町報に乗せなくても行政マンが目を通してもらえればそれで良
- ▽ 。
- ▽ パソコン講習会、午後1時～3時ぐらいだといいけるので御願
- ▽ いしたい。夜は出られず、夕方4時だと遅い。
- ▽ 情報化の前にもっと身近に感じられる行政を期待します。
- ▽ まだまだその必要性を十分検討して下さい。

○地域情報化に関するアンケート調査結果(事業所アンケート)

回答数:115 回答率:63%

問1 あなたの事業所が所在する地区はどこですか？

115事業所のうち、

■ 蚕桑	15
■ 鮎貝	15
■ 荒砥	63
■ 十王	8
■ 鷹山	1
■ 東根	13
■ 回答無	0

問2 あなたの事業所の主な業種は何ですか？

115事業所のうち、

■ 建設業・建築業	22
■ 製造業	10
■ 電気・ガス・水道業	6
■ 農林・畜産業	2
■ 運輸業	1
■ 卸売・小売業・飲食店	28
■ 金融・保険	5
■ サービス業	24
■ 医療・福祉	14
■ その他	2
■ 回答無	1

問3 従業員は何人ですか？

115事業所のうち、

■ 1～10人	87
■ 11～20人	9
■ 21～50人	8
■ 51～100人	2
■ 101～人	5
■ 回答無	4

問4 あなたの事業所では業務でパソコンを利用していますか？

115事業所のうち、

■ 利用している	93
■ 利用していない	22
■ 回答無	0

問5 あなたの事業所では業務でインターネットを利用していますか？

(携帯電話など、パソコン以外の機器によるインターネットの利用も含みます。)

115事業所のうち、

■ 利用している	86
■ 利用していないが、今後、利用する予定である(問11へお進みください。)	3
■ 利用しておらず、今後も利用する予定はない(次の設問へお進みください。)	24
■ 回答無	2

問6	問5で「3. 利用しておらず、今後も利用する予定はない」と回答された方にお尋ねします。インターネットを利用していない理由は何ですか？ 回答後、問14へお進みください。24事業所のうち(複数回答あり)、	
	■ 必要性を感じない	17
	■ 利用料金が高い	0
	■ 利用したいサービスがない	0
	■ その他	8
	▽ 個人情報流出防止のため、顧客管理のみ使用している。	
	▽ 知識がない。	
	▽ 経費削減と、本部に依頼すれば事足りるため。	
	▽ 使い方がわからない為。	
	▽ 本社で利用している。	
	▽ 利用する必要がない。	
	▽ 光ファイバーを子供達が利用していますが、お店では利用していません。	
	■ 回答無	1

問7	問5で「1. 利用している」と回答された方にお尋ねします。インターネットの利用回線は何ですか？ 86事業所のうち(複数回答あり)、	
	■ 光ファイバー	65
	■ ADSL回線	18
	■ ISDN回線	4
	■ モバイル通信(携帯電話やスマートフォンなど)	5
	■ その他	0
	■ 回答無	2

問8	問7で「1. 光ファイバー」と回答された方にお尋ねします。光ファイバーの利用による業務上の効果はありましたか？ 効果があった場合は、その内容をご記入ください。65事業所のうち、	
	■ 効果があった	22
	効果があった点	
	▽ 銀行からの振込が簡単。残高がすぐわかるようになった。在庫のない物の注文がとれようになった。	
	▽ ADSL回線での不安部分が解消されました。	
	▽ ネットに継がるのが早くなった。	
	▽ 大量の情報をやりとりできる。	
	▽ メールが速く送れる。	
	▽ 安価。多機能。	
	▽ 電話回線の複数利用が容易。画像など重いファイルの動きが素早い。	
	■ 特に変わりはない	43
	■ 回答無	0

問9	問7で「1. 光ファイバー」以外と回答された方にお尋ねします。現在、白鷹町は、全域で光ファイバー回線が利用可能となっています。今後、光ファイバー回線を利用したいとお考えですか？ 19事業所のうち、	
	■ 利用したい	9
	■ 今後も利用しない	9
	■ 回答無	1

問10	問9で「2. 今後も利用しない」と回答された方にお尋ねします。光ファイバー回線を利用しない理由は何ですか？ 9事業所のうち(複数回答あり)、	
	■ 月額料金が高い	1
	■ 光ファイバー以外の回線による接続でも不便を感じない	6
	■ 回線工事料金がかかるため	0
	■ 携帯電話・スマートフォンなどのモバイル通信のみの利用で足りるため	1
	■ その他	3
	▽ 現状の社会使用機器等で光ファイバーに変更するとコストがかかり、工事も必要な為なかなか変更出来ない。	
	▽ 今使っているソフトが、光に対応していないため。	
	■ 回答無	0

問11 問5で「1. 利用している」または「2. 利用していないが、今後、利用する予定である」と回答された方にお尋ねします。インターネットを何に利用していますか？または、利用する予定ですか？

89事業所のうち(複数回答あり)、

■ 情報検索	70
■ 社内外との連絡・コミュニケーション	34
■ 支払いや振り込みの電子決済	34
■ ホームページ等による情報提供・宣伝	30
■ 部品材料等の調達	24
■ 関連会社との情報共有	18
■ 電子申告や電子申請・届出	16
■ 商品の受注、販売(企業向け)	15
■ 市場調査	13
■ 商品の受注、販売(一般消費者向け)	12
■ 顧客からのサービス利用の申込受付	3
■ 商品などのユーザーサポート	3
■ その他	3
▽ 請求、注文請書など	
▽ 計算・企画書作成	
▽ 文房具類の発注	
■ 回答無	3

問12 問5で「1. 利用している」または「2. 利用していないが、今後、利用する予定である」と回答した方にお尋ねします。あなたの事業所では、ホームページを開設していますか？または、今後、開設する予定はありますか？

89事業所のうち、

■ 開設している(次の設問へお進みください。)	33
■ 開設していないが、今後、開設する予定である(次の設問へお進みください。)	15
■ 開設しておらず、今後も開設する予定はない(問14へお進みください。)	36
■ 回答無	5

問13 問12で「1. 開設している」または「2. 今後、開設する予定である」と回答された方にお尋ねします。ホームページを開設したことによる効果は何ですか？または、どのような効果を期待しますか？

48事業所のうち(複数回答あり)、

■ 宣伝効果	41
■ イメージアップ効果	18
■ 顧客の声の収集	10
■ 受注手段や申込受付等の効率化	9
■ 売上の増加	8
■ 最新の商品カタログなどを掲示できる	6
■ 広告費の削減	4
■ その他	2
▽ 人材確保に対する備え。	
▽ イベント・キャンペーン・その他の情報提供	
■ 回答無	2

問14 みなさんにお尋ねします。事業所に関係する町の情報をどのような方法で入手していますか？

115事業所のうち(複数回答あり)、

■ 「広報しらたか」	78
■ 商工会・観光協会	50
■ 白鷹町のホームページ	43
■ 担当課からの通知	34
■ 新聞・テレビ	19
■ 電話や直接窓口での問い合わせ	17
■ 知人・友人から	17
■ その他	4
■ 公民館	2
■ 回答無	0

問15 「広報しらたか」や「町のホームページ」に掲載される事業所に係る情報について、あてはまる番号を○で囲んでください。

115事業所のうち、

◆情報の内容について

■ 役にたっている	62
■ どちらともいえない	41
■ 役にたっていない	7
■ 回答無	5

115事業所のうち、

◆情報量について

■ 現在の情報量で充分である	57
■ 現在の情報量は少ない	35
■ 回答無	23

問16 今後、どのような情報がより流通することが望ましいと思いますか？
(インターネットに限らず、紙面などによる情報の流通も含まれます。)

115事業所のうち(複数回答あり)、

■ 地域企業の情報	53
■ 観光・イベントに関する情報	45
■ 地域に関する情報(地域行事・伝統文化など)	39
■ 行政の施策や財政等に関する情報	37
■ 健康・福祉に関する情報	36
■ 商工業に関する情報	35
■ 防災・災害に関する情報	35
■ 就職に関する情報	32
■ 社会保障に関する情報	31
■ 省エネルギーに関する情報	28
■ 環境に関する情報	28
■ 子育てに関する情報	26
■ 特産品に関する情報	23
■ 企業誘致に関する情報	22
■ 各種統計情報	17
■ 農林・畜産等に関する情報	12
■ その他	3
▽ 情報提供を公開している情報	
▽ 国県の支援事業、補助事業の情報	
■ 回答無	13

問17 町の情報化施策について、ご意見やご要望があればご自由にお書きください。

115事業所のうち、

■ 意見、要望など	7
▽ より簡易に利用できるものにして下さい。	
▽ 専門用語や役所用語をなるべく使わずわかりやすいことばで情報を発信してほしい。	
▽ 今まで募集や告知等において関係者しか知らなくて、知った時には遅かった、終わっていたということも多々あった。最近ではホームページ上でパブリックコメントの募集をしていたりもするが、年中ホームページを見ているわけではないので募集していることを気づかないこともある。その告知を更に広報紙で行うなど、対策を考えてほしい。	
▽ 高齢化が進むなかで、介護を要する人(家族)のために、こうすれば便利ですよ、こういう物がありますよ、こうすると簡単ですよ、など知ってる人は知ってるが、知らない人はとても助かる情報を「便利・助かる」お知らせコーナーとして町のホームページに加えてほしい	
▽ 小さな工場・店をフォローしてほしい。	
▽ 町のみならず、それぞれの諸団体も含め、町外に向け情報発信をしておりますが、それらが有効に活用されますことを望みます。	
▽ 是非！果物、ハチミツ、山菜、野菜、漬物、缶詰、ビン詰、加工品、陶器、肉、魚、木製品、味噌、お酒、等々全国発信よろしくお願い致します。	
■ 回答無	

108

